

公表日

令和7年 3月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 真岡田町教室

保護者等数(児童数) 30名

回収数 20件(割合66.6%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
体制 整	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	6	1		・利用人数に対して少し狭さを感じる ことがある。	部屋の大きさには限りがある為、外での活 動をうまく取り入れながら対応していく。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	4		3	・現在十分な人数が確保されているの か分からない。 ・年に1度職員一覧が欲しい。	日によっては少なくなってしまう。 必要に応じて年度初めに職員の一覧表をお 渡りする。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている と思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、 バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いま すか。	15	3				・設備上/バリアフリーではない為、職員が 危険箇所を把握し安全に過ごせるよう配慮 する。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いま すか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いま すか。	16			2		・引き続き活動の内容に合わせて部屋を分 けながら行っていく。	
支 援 の カ	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性の ある支援が受けられていると思いますか。	17	1				・情報共有を行いながら支援を行って いく。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援 内容と合っていると思いますか。	17	1					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観 的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画） が作成されていると思いますか。	18						
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライ ンの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、 「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に 必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が 設定されていると思いますか。	18				・一人ひとりに合わせた支援を行って、 もらっていると感じる。	・引き続き一人ひとりに合わせた支援を 行っていく。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いま すか。	18						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると 思いますか。	14	3		1	・第2、4土曜日も営業して欲しい。	・職員の確保が出来次第営業出来るよう進 めていく。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動 する機会がありますか。	5	3	6	4	・交流できる友達が少ない。多教室との 交流が欲しい。	・平日は難しい為、祝日や長期休暇の際に 取り入れていきたい。	
へ の 説	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等 について丁寧な説明がありましたか。	17			1			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明が なされましたか。	18						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー ニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われ ていますか。	6	5	3	4	・参観の様な機会があると良い。 ・家で出来ることがあれば教えて欲し い。	・行うことが出来ていない。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の 状況について共通理解ができていると思いますか。	17	1			・職員によって差があるように感じま す。	・職員間で話し合いを行い統一した支援を 行っていく。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	4			・支援画書の見直しのための面談である 為、定期的に行いたい。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	1			・長く働いている職員が多い為、本人た ちの性格を理解して支援してもらって いると思う。		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士 の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。 また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士 の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていま すか。	2	4	8	4			
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備され ているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があること について周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に 対応されていますか。	17	1			・相性を考えながら部屋の配置をしても らっている。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	2			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	5		1	・Instagramでの投稿となつてしまいいSNSをしていない親は見る事が出来ない。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1		2	
非常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	2		2	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	3		4	・毎回参加することが出来ない。 ・曜日や時間に配慮しながら全員が参加できるようにしていく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	2		2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際状況等について説明がされていると思いますか。	13	2		3	・事故が無いよう十分に気をつけているが起ってしまった際にはフローチャートを活用し対応していく。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	1			・職員が退職した際には不安があったがコミュニケーションが取りやすく今は安心して通わせる事が出来ている。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	1	1		毎回利用を楽しみにしている。 引き続き子どもたちが楽しく通えるよう環境を整えながら支援を行っていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18				下校時間が遅く利用時間が短い為、十分な支援が受けられていないと感じる時がある。 ・専門的支援を受けたい。 ・専門的支援を受けることが出来るよう求人を出していく。また研修等に参加し職員のスキルアップを目指す。

公表日

令和7年 3月 20日

事業所名

こぼんはうすくら 真岡田町教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	利用人数、こどもの性格、行動等を考慮し部屋を分けている。	部屋が狭く感じる。 死角になってしまうところがある。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	利用者の状況、対1対応の子等、状況、状態に応じて担当を決め配置を決めている。	日によって、少ないと感じることもある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	絵カード等を使用し、こどもが分かりやすいように必要な場所に表示している。	ドアの間口が狭い所があり、バリアフリー化されていない箇所がある。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	清掃、消毒の徹底。角等にクッション材で怪我予防。空気清浄機、加湿器等の使用。	死角になる場所には職員を配置。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	パーティションで区切ったり、事務室などを利用している。	建物の構造上難しいが、工夫をしていこうと思う。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	毎日の打ち合わせで共通理解をし、改善点等を話し合い共有している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	アンケートの実施、集計による改善対策の話し合い、実行をしている。	アンケートの全回収が難しい。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	管理者との面談の実施。 職員会議等での意見交換をし、改善に努めている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5		現時点では行っていないので、今後取り入れていけたらと思う。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	外部研修への参加。研修内容の共有。 社内研修の毎月の実施。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	2	個々の支援に適切なプログラムが作成されている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	保護者から最近の様子等を定期的に関き、支援計画をたてる。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	職員全員が支援計画に目を通し、打ち合わせ等で共通理解をしている。 カンファレンスをしている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	会議での話し合いを元に、支援計画に沿った支援をしている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	モニタリング、担当者会議を通してその子に応じた支援内容を細かく設定している。	行えていない。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	打ち合わせ時に、利用児童の事を考えて行っている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	固定されない様に前プログラムを保存確認し、支援をしている。	マンネリ化しているように思う。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	月毎に計画を立て、個別・集団が適度の組み合わせになるように作成している。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	打ち合わせは必ず行い、当日の支援内容、役割、流れを確認している。前日の報告も行い、ファイルで保存。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	翌日に前日の振り返りをし、共有できるように記録に残している。	送迎と残る職員に分かれてしまうが、様々な方法で共有できるようにする。

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	前日の報告をし、記録に残し検証、改善できるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	普段、学校、他事業所などの様子を踏まえ、定期的に行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	1		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	自己決定できるよう声掛け、支援をしどこまでできるか考えている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児発官が参画。後日、全職員に職員会議で報告。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3		あまり連携できていないので、連携していけたらと思う。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	下校時刻一覧を、学校より提出してもらう。送迎時を利用し、情報交換し共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4	相談支援委員、保護者を通じて行うことが多い。	直接のやり取りはないので、していけるようにしたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	6		該当する利用者がいなかったため、していない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	0	7		他事業所などとの交流が難しいが、機会を広げていければと思う。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5		
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時や連絡帳を用いて、その日の様子を伝える。必要に応じて電話連絡。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4		
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に管理者が行っている。
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	保護者からお話を聞いたり、アンケートを取ったりしている。	
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	相談があった際には、電話や送迎時等に対応している。	
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	7		保護者会等、交流できる機会があったら良いと思う。
41		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	その都度、迅速に対応するように職員で話し合い対応している。	苦情が出ないように努める。
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1	活動計画を毎月配布し、SNSをこまめに発信している。	
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報の書類は施錠出来る場所に収納。	
44		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	絵カードの表示。	絵カード、マカトンサイン等を活用し、わかりやすく説明出来るように心掛ける。
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7		招待するまでの行事内容ではないので、地域の方々に参加できるような行事を肝考えたい。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各マニュアルを作成し、職員が共通理解できるよう研修を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	避難訓練の際は、絵カードや紙芝居等を用いて説明し、定期的に訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	契約時に確認し、全員し周知対応している。またモニタリング時にも変更の確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	安全管理者を定める。書類作成、安全の確認（室内・戸外）を定期的に行う。	年間計画があるが、忘れてしまうこともある。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	3		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	ヒヤリハットが起きた際、全職員で話し合い再発防止に心掛けている。	ヒヤリハットの記入が出来ていない。報告はしているが、検討等はできていない。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	どのようなことが虐待になるか研修等で確認し、対応している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	必ず保護者に説明をし、理解を得るように心掛けている。		